



観観産第507号

平成28年12月2日

一般社団法人 日本旅館協会会長 殿

観光庁観光産業課長



年末年始におけるテロ対策の徹底について

国土交通省では、これまでも国民生活の「安全・安心」を確保する観点から、最重要課題の一つとしてテロ対策の強化・徹底に取り組んでいるところです。

近年、I S I Lに影響を受けたとされるテロがフランス、ベルギーなど各地で発生し、多数の犠牲者が出ている。また、バングラデシュ・ダッカ襲撃事案を始め、現実には邦人がテロの標的となる事案が発生している。国際的なテロの脅威は依然として深刻であり、テロ対策について万全を期する必要があります。

また、年末年始（平成28年12月10日～平成29年1月10日）においては、大量の輸送需要が集中して発生するとともに、イベント等への多数の人出が予想されます。

貴協会（連盟）におかれましては、この機会に改めて、下記テロ対策についてその徹底を図る旨、会員に対し周知方よろしくお願いいたします。

○テロ対策の徹底内容

1. 宿泊者名簿への正確な記入

当該宿泊者が日本国内に住所を有しない外国人である場合には、その者の国籍・旅券番号の併記及び旅券の写しの保存

2. 捜査機関から宿泊情報の提供について要請があった場合の協力の実施

3. 不審者等発見のために施設内外の巡回・点検の実施

4. 事件・事故発生時の連絡・救助体制の再確認・周知